

## 「西中町地震に強いまちづくり勉強会」の活動経緯



### 第1回 平成21年6月28日(日)

テーマ：この勉強会について

地震に対する備えに関するビデオを上映した後、勉強会を開催する趣旨や目的、西中町の状況、勉強会のスケジュールについての確認を行いました。



### 第2回 平成21年7月25日(土)

テーマ：まちの状況を確認し、地震防災上の問題点をまとめる

4つの班に分かれて町内を歩き、西中町の地震防災上の問題点を話し合いました。

### 住宅の耐震化に関するアンケート 平成21年7月

西中町にお住まいの方を対象にアンケートを実施したところ、280件の回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。



### 第3回 平成21年8月23日(日)

テーマ：「地震に強いまち」にするために何をすべきかを考える

第2回の結果と、アンケートの結果などをもとに、西中町にふさわしい「地震に強いまち」に向けた方策・取り組みは何かを話し合いました。また、第4回の内容についても話し合いました。

### 耐震診断ローラー作戦 平成21年9月26日(土)

町内の117のお宅を訪問し、耐震診断の受診の案内を行いました。当日を含め、9月から12月の間に町内で33件の申込がありました。



### 第4回 平成21年11月21日(土)

地震を知ろう!! 体験会

皆さんにも参加していただいて、元神戸市消防士の中谷満さんによる講演会のほか、なます号などによる体験会を開催しました。



### 第5回 平成22年2月7日(日)

テーマ：これからの「地震に強いまちづくり」の作戦を立てる

「地震に強いまちづくり」に向けて、西中町で今後取り組んでいくことを具体化させるための話し合いを行いました。

平成22年3月

発行 知立市役所 建設部建築課 Tel: 0566-83-1111 (内線 291)

協力 西中町内会、西中町防災協議会

# 西中町 地震に強いまちづくり勉強会 ニュース

昨年の6月から、西中町内会、防災協議会および知立市は協力して「西中町地震に強いまちづくり勉強会」を開催してきました(勉強会の活動経緯は4ページ目をご覧ください)。勉強会ではとくに、住宅の耐震化がどうしたら進むのかを中心に話し合いを行ってきました。この勉強会を通じて、今年の春以降に西中町で取り組んでいくことがまとまりましたのでお知らせします。



(第5回勉強会の様子)

## 「地震に強いまちづくり」に向けて行うこと

※それぞれを具体化するなかで、内容や時期などが変更になることも考えられます。

### 1. 耐震化に対する意識を高めるためのイベントの開催

#### ① 平成22年秋の防災訓練

平成22年秋に予定されている防災訓練のなかで、防災協議会が中心になって、耐震化に関するイベントを開催することになりました。このイベントは「体感」をテーマに、次のような内容をいくつか組み合わせる行うことが想定されています。

- 耐震化の効果などに関する映像上映
- 防災グッズ等の展示
- 家具の固定に関する情報提供、実演、相談
- 炊き出し訓練
- ブロック塀を生け垣にする補助などに関する情報提供
- など

#### ② 継続的なイベントの開催

①のほか、市や県の支援を受けながら、町内会としてイベントを継続的に開催していくことが提案されました。町内の多くの人に参加してもらえるように、テーマを変えて、春・秋など年に複数回を開催することも併せて提案されています。

- 地震被害の映像上映、情報提供
- 家具等の転倒防止対策
- 地震経験者による講演会
- 地震発生時の初期行動に関する講習会
- など

### 2. 「チェックリスト」の作成と配布

平成22年度から、町内会が中心になって、地震への対策をまとめた「チェックリスト」を作成して各家庭に配布すること、またそれを展示しておくことが提案されました。

- 各家庭が準備するべきもの(品目、数量)
- 家具の転倒防止対策
- 耐震化に関する効果、費用、業者
- など

今後も西中町内会、防災協議会および知立市は、力を合わせて地域の「地震に強いまちづくり」を進めていきます。

西中町を地震に強いまちにしていくため、**皆様のご協力をお願いします!!**



## 「住宅の耐震化に関するアンケート」

昨年7月に町内にお住まいの世帯を対象として実施したアンケートでは、280件のご回答をいただきました（調査票配布数320件、回答率87.5%）。その結果の概要をご報告します。

<全体の集計から（集計対象：280件）>

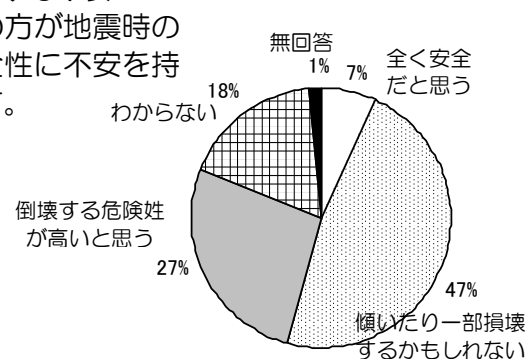
項目	結果の概要
無料耐震診断制度の認知度	知立市が行っている無料耐震診断制度を「知っている」との回答は全体の88%で、大半の方に認知されていることがわかりました。また、昭和55年以前に建てられた住宅にお住まいの方の認知度は90%を超えており、より高いという傾向があります。
耐震改修補助制度の認知度	知立市が行っている耐震改修補助制度を「知っている」との回答は全体の64%で、半数以上の方に認知されていることがわかりました。また、昭和55年以前に建てられた住宅にお住まいの方の認知度は70%であり、より高いという傾向があります。
家具の転倒防止等対策の実施	「家具の固定をしている」との回答は全体の21%、「寝室に家具は置かないようにしている」との回答は全体の37%で、何らかの家具の対策を行っているのは全体の58%という結果になりました。
自主防災会等の活動の認知度	西中町自主防災会や防災協議会について「知っている」との回答は全体の77%で、そのうち「活動内容を含めて知っている」は36%でした。

<昭和55年以前の建築についての集計から（集計対象：159件）>

これ以降は、耐震化の主な対象になる古い耐震基準で建てられた住宅の状況として、建築時期が「昭和56年以降」とした方の回答を除いた場合の集計から、主要なことからご報告します。

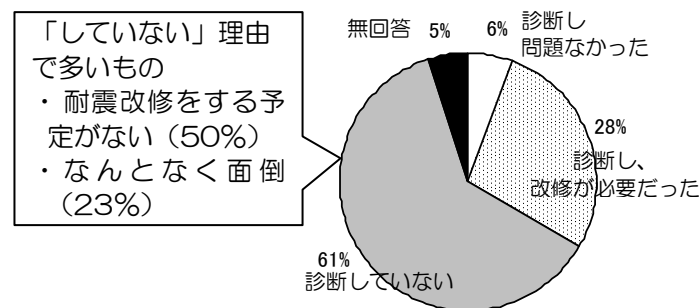
### ■地震に対する不安

7割強の方が地震時の住宅の安全性に不安を持っています。



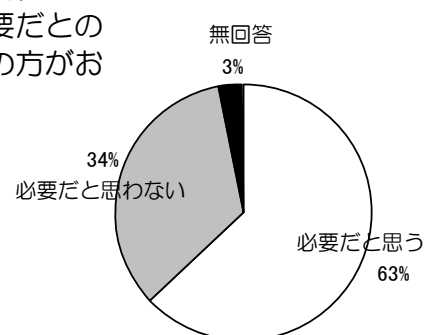
### ■無料耐震診断の実施

「無料耐震診断をしていない」のは約6割です。



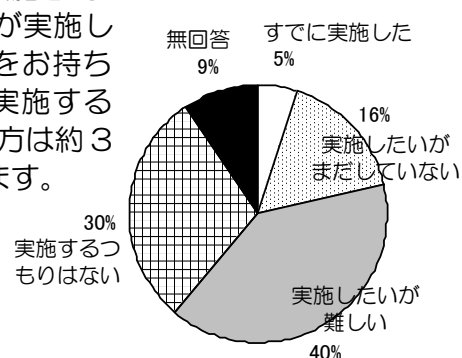
### ■耐震改修の必要性

耐震改修が必要だとの認識は、6割強の方がお持ちです。



### ■耐震改修の実施意向

6割弱の方が実施したいとの意向をお持ちです。一方「実施するつもりはない」方は約3割となっています。



### ■耐震改修をしていない理由（「現在のところ耐震改修をしていない」と回答された方）

順位	回答	割合
1	改修費用が高く負担できない	40%
2	改修しても効果があるか心配である	28%
3	他のリフォームをしたばかりで、今は費用をかけたくない	16%
3	もう高齢なので耐震改修を実施しても長い間住めないからもったいない	16%
5	高齢のため面倒である	15%
6	地震が起きるかどうかもわからない	11%
6	改修の際に移転が必要になるなど、生活環境が変わるのが不安	11%
8	近いうちに建て替えまたは住み替えるので、今は費用をかけたくない	10%
9	何をしたらいいのかわからない	9%
10	家の中に他人を入れたくない	6%
11	誰に相談していいのかわからない	5%
12	近い将来実施する予定	4%

※複数回答 「その他」の回答を除く

### ■耐震改修をするために望む支援

順位	回答	割合
1	補助金の増額や融資制度を充実	42%
2	最低限の費用でできる方法を教える	42%
3	信頼できる建築設計士や工務店などを紹介	25%
4	改修に関する各種の情報の提供	25%
5	相談窓口の設置	19%
6	気軽に相談できる人を紹介	10%

※複数回答 「その他」の回答を除く

### ■耐震改修をする場合に負担が可能な額

回答	割合
20万円未満	7%
20～50万円未満	15%
50～100万円未満	22%
100～150万円未満	5%
150～200万円未満	11%
200万円以上	6%
負担は難しい	18%
無回答	16%

※2つに0を付けている1件は、小さい方の額で集計した

### ■簡易な耐震改修

寝室のみを補強するなど少しの費用で行う少しの改修を、「実施したい」（“補助があれば”を含む）は38%、「実施するつもりはない」は34%です。簡易な耐震改修のニーズは二つに分かれています。

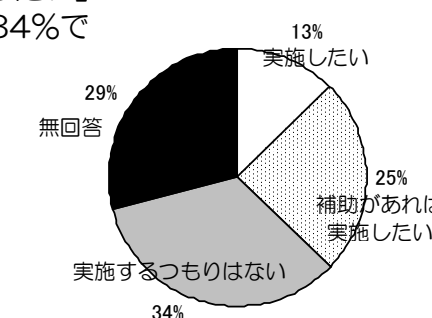
「実施したい」理由で最も多いのは

- 最低限命が守ればよいため：70%

「実施するつもりはない」理由で最も多いのは

- 家が倒れない改修では意味がないため：59%

となっています。



このほか、「住宅の耐震化を進めるために、市や地域活動はどうしていけばよいか」などに関する多くのご意見をいただいています。

これらのご意見を含むアンケートの結果をもとに、勉強会での話し合いが行われました。

**ご協力ありがとうございました。**



（第3回勉強会の様子）